

電気通信大学 平成19年度シラバス

授業科目名	独語運用演習		
英文授業科目名	Intermediate Practical German		
開講年度	2007年度	開講年次	2年次
開講学期	後学期	開講コース・課程	夜間主コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化演習科目		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	秋田 静男		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ

【主題および達成目標】
<p>(a) 主題 正しい発音による読みから始めて読解力を養い、書いたり口頭で発話する作業をも通してドイツ語の構文や表現法の様々なヴァリエーションを把握し将来的にみて能動的運用能力が育成されるよう努めます。「独検4級」に合格すること。</p> <p>(b) 達成目標 基礎文法を復習しながら、昨年度学んだ内容に一層の磨きをかけ自分のものとして「分かるドイツ語」の習得、すなわち総合的視野にたったの正確な内容把握とそれに基づく、こなれたドイツ語表現力の養成。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
独語第一、独語第二

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
特になし

【教科書等】
教科書：金井、工藤他著『新・独検4級合格講座』（三修社）2600円 参考書：在間進著『独検合格単語＋熟語1800改訂版』（第三書房）1900円 辞書：『アポロン独和辞典』（同学社）4000円、ただし別の辞書でも可

電気通信大学 平成19年度シラバス

【授業内容とその進め方】

「ドイツ語技能検定試験（独検）4級」合格を目指します。使用するのは「独検」対策教材です。「独検4級」の検定基準は「ドイツ語授業を約60時間受講している」ということになっています。これまでに培ってきたドイツ語の素養と能力を十分に展開しながら講義と演習に取り組み、11月23日に実施される検定試験合格を目指しましょう。

昨年使用した教科書を繰り返し見直し、辞書を携帯してください。トライ精神でドイツ語にチャレンジ。必ず合格できるに違いありません。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

(a) 評価方法

学期末試験の成績と平常点（授業態度、参加意欲等）から複眼的に判断します。なお、授業中における私語など勝手な行動を慎まぬ学生については厳しく対処し、授業への参加を拒否致します。単位の修得も認めません。

(b) 評価基準

「独語第一」、「独語第二」の学習内容に基づいて教材に取り組むことができる。「独検4級」合格を目指して学習できる（但し受験することを条件とするものではありません）。

【オフィスアワー：授業相談】

月曜日、授業の前後の時間帯に講師室にて応じます。

【学生へのメッセージ】

本授業は独検受験者のみを対象とするものではなく、ドイツならびにヨーロッパ文化を土台にしながら、各人の知性と好奇心に充分対応するよう豊かで興味深い講座にしてゆきます。

【その他】